



在宅でのお口の健康と

食べることを支える

「口腔ケアステーション」

お口の中の衛生を保つことは、誤嚥性肺炎を予防し、いつまでも美味しく食べるにつながります。今、歯科医院への通院が難しい方などへの口腔ケアが注目されています。

松阪地区歯科医師会では、歯科医師や歯科衛生士が自宅や施設などで訪問歯科診療や口腔ケアを行っています。今回は、その利用者として口腔ケアステーションの近田歯科衛生士にお話を伺いました。



利用者 石川さんご夫妻

利用のきっかけは？

夫が脳梗塞を起こし入院したことがきっかけです。麻痺がとても強く、食事でも満足にとれない状態で退院し困っていたところ、医師のすすめで口腔ケアステーションの利用を開始しました。退院時は、声がぼぼ出なかったのですが、口腔ケアや口のリハビリを定期的を受け、話ができるようになり、食事や晩酌と一緒に楽しむまで回復しました。今は、肺

炎を起こさないよう家族で口腔ケアに取り組んでおり、おかげで発熱も一度もなく、毎日のケアは大切だと感じています。家族だけでは口腔ケアまで気が回りませんが、専門職の方々のサポートを受け、チーム医療のすこさを感じました。フォローがあるから自分も頑張ろうと思いますし、これからも夫婦で様々な話をし、笑いあっていきたいです。

口腔ケアステーションの役割

近田 紀子歯科衛生士

現在10人の歯科衛生士が1歳から100歳を超える方まで幅広く訪問しています。大きな病気や怪我で気持ちが沈み、歯磨きが行き届いていない方が多くおみえです。そのような方を我々専門職がチームとなってフォローすることが大切だと思います。お口は全ての原点であり、口腔機能を維持向上させることで、美味しく食べながら栄養がとれ、元気を回復することにつながります。口腔

ケアで肺炎予防・食支援の両方を行うことが重要です。いつまでも自分らしく生活してもらうための口腔ケアだと思っています。口腔ケアのことでお悩みのある方はお気軽にご相談ください。



歯科衛生士 近田 紀子さん
(松阪地区歯科医師会口腔ケアステーション)

《相談・お問い合わせ先》

松阪地区歯科医師会
口腔ケアステーション

担当：近田

☎090-5614-8020